

帰国した実習生のためにベトナム工場を設立。日本に戻って来るケースも

有限会社新栄精器は、フライス盤やマシニングセンタで金属を切削加工し、機械部品や金型部品を製造しています。帰国した技能実習生が母国で技術を活かせるよう、ベトナムに工場を設立し、そこで経験を重ねて再び日本に戻って来るケースも出てきました。島田秀樹社長にお話を伺いました。（インタビュー日：2021年8月）



島田 秀樹 代表取締役

－ 外国人社員を受け入れた経緯をお聞かせください。

社員の定着率に頭を悩ませていたとき、組合から外国人研修生（※1）についてのFAXが流れてきて、2005年に受入れを始めました。さらに任せたい業務が出てきて人材紹介会社を通じてエンジニアを雇用すると、その社員の紹介によるエンジニアの採用も広がりました。

現在、本社工場の従業員24名中、16名がベトナム人で、内訳は、技能実習生5名、特定技能2名（※2）、エンジニア9名です。九州工場にも元留学生のエンジニア等が4名（ネパール人）います。**特定技能2名とエンジニアの1名は、当社の元実習生**です。

（※1）現在の技能実習生。（※2）1名は手続中。

－ 元実習生がエンジニアになれるのですか？

彼は大学を卒業しているので、「技術・人文知識・国際業務」の在留資格を取得できたのです。ベトナムの送り出し機関には、**実習修了後も当社で活躍してもらえよう、専門学校卒や大学卒の条件をつけて**候補者を探してもらっています。

彼は、ベトナム工場の立ち上げにも尽力してくれ、「また日本で働きたい」という希望があったので、昨年、エンジニアとして当社に戻ってきてもらいました。技能実習生から始めておよそ10年、当社で一番長く働いてくれている外国人社員の一人です。



ベトナム工場の社員

－ ベトナム工場を設立された経緯を教えてください。

ベトナム工場は、当社としてではなく、私個人が他の日本人経営者と共同出資して設立したものです。帰国した実習生は、実家の農業を手伝ったりするケースが多く、日本で修得した技術を活かしていない現実がありました。ベトナムに工場を作れば、**本人も技術を活かして働けるし、当社も彼らと関係性を維持できる**。ベトナムにとっても、実習生がそのように働いて税金を納めてくれるのが本来の姿でしょう。また、小さな会社でも海外に拠点を持ちたいという思いもありましたね。

ベトナム工場では、当社が受注し、日本で試作・性能確認を行った製品の量産化に加え、単品小ロット加工を行う体制も整えています。現地のベトナム人副社長は日本語ができるため、本社との情報共有もスムーズですし、小ロット製品については、空輸により納期を抑えつつ、空輸コストを入れても十分に勝負できるコストパフォーマンスを出せています。



マシニングセンタを操作するエンジニア

－ 外国人社員はどのような業務を担当していますか？

実習生はフライス盤の操作を、エンジニアと特定技能はCAD/CAMの設計や機械のオペレーションを担当しています。外部の方には、外国人が多く、しかも**日本人のサブではなく、メインの業務を行っている**ことに驚かれますね。

受入れ当初は言葉に困りましたが、日本語を話せるベトナム人がリーダーになり、今は問題ありません。日本人管理者からリーダーへは日本語で指示し、リーダーからその他のベトナム人にはベトナム語で指示を伝えています。日本語でニュアンスまで伝えるのは難しいですから。

－ 外国人材の導入を考えている企業にアドバイスをお願いします。

外国人の雇用を考えているなら、**すぐに始めた方が良く**と思います。日本の労働人口が減っていく中で、**外国人を雇うことは、今後、主流になる。でも人材を育てるには時間がかかります。**当社もここまで来るのに10年かかりました。

日本人と外国人を**対等に扱う**ことも大切です。日本人の方が偉い、日本だから日本流にやれといった圧迫感を与えないように。そして、**日本人の補助ではなく、メインの業務を担当させるべき**です。

さらに、**出身国で自社の法人をやっていく考えを持つ**と、とても前向きな方針を取れるので、そういうイメージを持って雇用するのが有効だと思います。

当社の場合、元実習生の同期3名がベトナム工場の立ち上げを支えてくれ、うち1人がエンジニアとして、もう1名は特定技能として、当社に戻ってきてくれました。残る1名は女性で、今は特定技能の彼の奥さんです（笑）。実習生の出身国に工場を持つことによって、実習生は帰国後も我が社の社員でいてくれ、向こうで経験を積んで、また日本に戻って来ることもできる。そのように長期的な視野で考えてはいかがでしょうか？

担当者からの一言

島田社長は、これまでの経験を活かして、ベトナム人雇用やベトナムでのビジネス展開を支援するコンサルティング会社も設立されました。今後、ますますベトナムでの人脈が生きそうですよね。



仕上げ作業を行うエンジニア



フライス加工品

【有限会社新栄精器】

住所：大阪府八尾市西高安町1-77-1

代表者：代表取締役社長 島田 秀樹

創業：1971年、設立：2000年

業種：金属の切削加工

資本金：300万円

従業員数：28名

（うち技術・人文知識・国際業務13名、

特定技能2名、技能実習生5名。

国籍はベトナム16名、ネパール4名）

HP：<http://www.sineiseiki.jp/>